

栃木医療センター 広報誌

No.
57

理念
信頼 貢献 協働



Contents

- 新看護部長挨拶・新事務部長挨拶……………1
- 診療科紹介（救急科）……………2
- 診療科紹介（小児泌尿器科）……………3・4
- 地域医療連携講演会・意見交換会……………5
- 連携医紹介（のうか眼科）……………6
- 外来における新型コロナ問診票の終了について/交通のご案内…裏表紙

新看護部長挨拶



看護部長 西村 由紀

この度、4月1日に看護部長に着任いたしました西村です。どうぞよろしくお願いいたします。

栃木医療センターでは、「信頼・貢献・協働」を理念として医療提供を行っています。微力ではありますが、地域の皆さまから信頼を得られるような環境作りに貢献していきたいと考えております。

また、看護部では、「人に寄り添い想いに共感できる」を理念として看護を実践しています。栃木医療センターには、二次救急を担う病院としての役割があります。急性期における安全な医療提供とともに、病気により不安な気持ちで入院生活を送る患者さんの想いに寄り添えるように努力しています。多職種でのチーム活動を積極的に実施しており、それぞれの専門分野の知識を持ち寄り検討して、患者さんへの支援ができるように協力しています。

そして退院後は、病気を持ちながらでも、住み慣れた地域でそれぞれが想うその人らしい生活ができるよう、調整に尽力したいと思います。そのためには、地域の医療・介護・福祉職員の皆さまとの連携が必要不可欠です。様々な方との情報共有を積極的に実施し、円滑な連携ができるようにしていきたいと考えていますので、今後とも皆さまのご支援を賜りますようお願いいたします。

新事務部長挨拶

事務部長 荒井 英夫

4月に群馬県の渋川医療センターから赴任しました荒井と申します。私は栃木県出身ですが、関東甲信越の病院を転勤して回り、栃木県内の病院は15年ぶり、栃木医療センターは26年ぶりに勤務することになりました。

当院では地域医療連携の強化を進めており、今年4月に地域医療連携サービスTONARIを導入しました。これまで通り先生方のクリニックからオンラインで当院のMRI・CT等の検査予約が可能で、撮影後はこれまでCD・DVDでやり取りしていた画像やレポートを即時に参照・ダウンロードすることができ、メディアの保管や紛失等のリスクも無くなります。

栃木医療センターが地域医療に貢献できるよう、事務部として何をすべきか常に考え励んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

診療科

紹介

救急科

救急科医師 山田 宗

当科の取り組み

救急科は、済生会宇都宮病院や獨協医科大学病院などの救急医と協力しながら救急外来診療を行い、救急科領域での入院診療も行っています。患者さんの様々な主訴や病態から「あらゆる疾患を鑑別に挙げながら検査を進める」と同時に「初期治療を行う」という、診断学と蘇生学を並行していくことが特徴であり、守備範囲は内科疾患のみならず、外傷や中毒、熱傷、熱中症や低体温症、災害医療など多岐に渡ります。当科で完結できない疾患は、当院で掲げている全ての科の医師や薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカーなど、病院全体の協力をいただいております。

平時は、主に救急車や、済生会宇都宮病院が運営するドクターカーで搬送される患者さんの診察を行っています。宇都宮市や塩谷広域だけではなく、日光市や那須地区など、栃木県全体の救急車も受け入れており、搬送困難症例を無くすように努めております。脳卒中や心筋梗塞などに対して、1分1秒でも早く根治術に繋がられるよう、脳神経外科や循環器内科と連携を取っています。そのほか、地域医療連携室経由で他医療機関からの紹介患者さんも受け入れており、2024年の能登半島地震においては医療救護班として被災地支援活動も行いました。

2023年度に常勤医が着任し、2024年度に医師が増え、今まさに成長中の診療科です。医療機関の皆様からのご依頼に対して、いつでも救急患者さんに対応できる体制を整えて参りますので、今後とも当院にご連絡いただければと思います。病院の窓口の一つとして、一人でも多くの患者さんが笑顔で帰れるために尽力していく所存でございます。



診療科

紹介

小児泌尿器科

小児外科・小児泌尿器科医長 小林 めぐみ



小児泌尿器科について

対象はこどもの泌尿生殖器の疾患です。疾患の大部分は生まれつきのもので、手術療法を必要とするものも多くあります。病態生理は成人や高齢者とは異なり、検査法も特殊であることから、小児に特化した知識、使用機材ならびに手技が必要です。

当科の取り組み

「適切な症例に安全確実な治療を行うこと」をモットーに、診断から治療まで小児泌尿器科専従医師と協力しています。水腎症、膀胱尿管逆流、尿道下裂に対し、当院は高い水準で手術治療ができる数少ない病院のひとつで、県外からの紹介患者さんも受け入れています。

当院における小児泌尿器科の手術の多くは、小児の他臓器手術と比較して術後の離床や食事摂取開始も早く、安定した成績を残せています。一方で、尿道下裂などの高難易度手術は創部の安静を要することから、保護者の方々にご理解とご協力を得て、術後に体幹および四肢の抑制をしています。お子様のストレスをできるだけ軽減し、合併症なく早期退院できるよう努めています。また、より高次医療機関での治療が望ましいと判断した場合は、責任をもって他院へご紹介いたします。

外来診療では、夜尿症（おねしょ）や昼間の尿失禁など、手術以外の治療にも積極的に取り組んでいます。なにより小児外科疾患と小児泌尿器科疾患を同時に診療できることが、当院の強みと考えています。



当院が経験豊富な低侵襲外科的治療

小児泌尿器科疾患の全般に対して最も安全で確実な手術治療を提供することを重視していますが、近年の著しい技術革新にともなって、あらためて当院が得意とする疾患と手術を以下に記載します。

膀胱尿管逆流症	膀胱尿管逆流症グレードII-IVに対する内視鏡的デフラックス注入療法（SMHIT）
停留精巣	経陰嚢式停留精巣根治術
尿道下裂	重症型尿道下裂に対する一期的尿道下裂根治術 包皮ならびに口腔粘膜移植を用いた尿道下裂手術
先天性水腎症	後腹膜鏡併用小切開腎盂形成術
難治性の夜尿症／昼間尿失禁	男児（晩期発症型）後部尿道弁に対する内視鏡切開術

現在の体制について

私が着任した2023年1月より外来枠・手術枠を拡充しました。さらに、2024年4月からは常勤医の増員によって3名体制となり、宇都宮市では当院でしか行えない小児外科・小児泌尿器科診療を展開しております。救急の患者さんなどにも可能な限り対応していますので、ぜひ当院の受診をご検討ください。

小児外科・小児泌尿器科

診療時間	月	火	水	木	金
午前（10：00～）	●	—	●	—	●
午後（13：30～）	●	●	●※	● (予約のみ)	●

※第1・3週水曜日は、小児泌尿器専門外来。小児泌尿器科の受診は●すべて可能。



2024年度 NHO栃木医療センター 地域医療連携講演会・意見交換会

地域医療連携係長 佐藤 博子

7月4日（木）ホテル東日本宇都宮にて、NHO栃木医療センター地域医療連携講演会・意見交換会を開催いたしました。

参加者：総数171名

院 外：93名（医師：30名
コメディカル：38名 看護職員：25名）

院 内：78名（医師・歯科医師：30名
コメディカル：31名 看護職員：17名）



今回は、2つの講演を行いました。放射線科の河合医長から「新しい地域医療連携システムTONARIについて」と題し、2024年4月より大型医療機器共同利用がC@RNAからTONARIに変更されたことにあたり、予約・画像閲覧方法などのメリット・デメリットについてご講演いただきました。また、小児外科・小児泌尿器科の小林医長から「少子化時代に必要な小児の外科診療～当院の役割と地域連携～」と題し、当院小児外科・小児泌尿器科の現状についてご講演いただきました。

どちらもとても興味のある内容で、アンケートでも「TONARIに期待している」「わかりやすかった」や「小児外科の現状や小児泌尿器科の診療・手術を教えていただき、大変学びになった」などのご意見をいただきました。

この度は、連携医療機関を始めとする多くの方々にご参加いただき、心より感謝申し上げます。また、事前申し込みにご協力いただきありがとうございました。TONARIに関してご不明な点などございましたら、お気軽に地域医療連携室までご連絡ください。

今後も、病診連携・病病連携を強化するために、定期的に連携医セミナーや地域医療連携講演会の開催を考えております。当院の地域医療支援病院としての役割を果たすため、よりよい連携体制づくりに向け努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



のうか眼科

院長 苗加 けんおう 謙応

1995年より宇都宮若草において開業しておりますのうか眼科は、地域医療における眼科医療の質の向上を目指してまいりました。

開業に先立ち、栃木医療センターにて4年間眼科医長を務め、白内障手術、網膜剥離、硝子体手術、緑内障手術、角膜移植手術といった幅広い症例の手術を経験させていただき、その臨床経験を基に眼科医療を提供しております。

当院では、外来診療を中心に、日帰りによる白内障手術やレーザーによる網膜光凝固、緑内障手術等を行っており、全身管理が困難な症例や入院治療が必要な症例に対しては、栃木医療センターの眼科と連携させていただいて専門的治療を推進しております。

専門外来として、ドライアイ、涙道の診療も設けており、患者様一人ひとりの状態に合わせた細やかな治療を心掛けております。医療機器に関しましても、オプトスやOCTアンギオといった最新の機器を備えており、正確な診断と効果的な治療を提供しております。

のうか眼科はこれからも栃木医療センターとの連携を深め、患者様の目の健康を守り続けながら、地域医療に貢献して参りたいと考えております。



ご案内

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	●	●	●	×	●	●	×
午後 14:30~18:00	●	●	●	×	●	● 14:30~ 16:00	×

※休診日…木曜・日曜・祝日

※院長の外来診療は、月曜・水曜・金曜午前・土曜午前に行っております。



〒 320-0072 栃木県宇都宮市若草3丁目1-15

TEL 028-643-3222

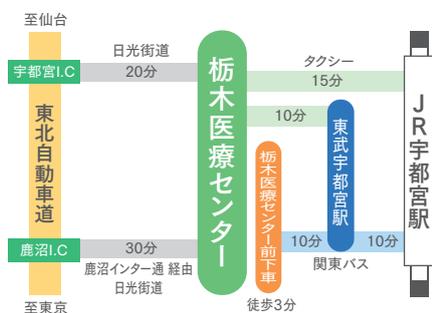
外来における新型コロナ問診票の 終了について

これまで、当院の外来を受診される方には新型コロナ問診票の記載をお願いしておりましたが、令和6年5月31日をもって終了いたしました。

なお、面会等で病棟に入館する方につきましては、引き続き新型コロナ問診票の記載をお願いしております。
ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。



交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構
栃木医療センター
院長 石原 雅行

〒320-8580

栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37

TEL. 028-622-5241

FAX. 028-625-2718

URL. <https://tochigi.hosp.go.jp/>

